

化学物質等安全データシート*

【1-1. 化学物質等及び会社情報】

会社名 アジレントテクノロジー
 住所 2850 Centerville Road
 Wilmington, Delaware 19808
 緊急連絡先 横河アナリティカルシステムズ株式会社
 住所 東京都八王子市高倉町9-1 (〒192-0033)
 担当部門 カスタマーサポートセンター
 電話番号 0120-477-111
 FAX 番号 0120-565-154
 作成 1997年2月25日
 改訂 2002年6月14日,2000年4月3日,1999年6月10日

化学物質等の名称 : NaOH 電解溶液 ,水素ガス発生装置用
 化学物質等のコード : アジレント部品番号 :8500-6932

【2. 組成 ,成分情報】

単一化学物質と混合物の区別 : 混合物。水溶液。250mL 容器。

危険有害成分 :

化学名	CAS 番号	EC 番号	化審法	安衛法
水酸化ナトリウム	1310-73-2	011-002-01-3	1-410	-
化学名	濃度	分子量	化学式	危険有害性
水酸化ナトリウム	22%	40	NaOH	あり

別名 : 水酸化ナトリウム : 苛性ソーダ ,ライ (灰汁) ,水和ナトリウム ,ソーダ灰汁

【3. 危険有害性の要約】

想定される非常事態の概要

腐食性。火傷を引き起こす。吸入 ,皮膚接触及び摂取すると有害である。

人の健康に対する有害な影響 :

吸入 : 灼熱感 ,せき ,喘鳴 , 喉頭炎 , 息切れ , 頭痛 , 悪心および嘔吐といった症状の現れることがある。
 摂取 : 粘膜に対して腐食性がある。
 皮膚 : 腐食性がある。
 眼 : 眼に入ると失明することがある。
 先在症状の悪化 : 特にない。

【4. 応急措置】

吸入した場合 : 吸入した場合 ,新鮮な空気のある場所に移すこと。呼吸困難の場合は ,酸素吸入を施すこと。呼吸が停止している場合は ,蘇生術を施すこと。医師の手当てを受けること。

* 【免責事項】この化学物質等安全データシートは ,アジレントテクノロジーの顧客に無償で提供されます。データは ,提供準備段階におけるアジレントテクノロジーの最新情報です。データは情報提供のみを目的として発行されるもので ,情報内容についての正確さや完全性を暗黙的に保証するものではありません。

- 飲み込んだ場合 : 無理に吐かせないこと。口を水で洗い流し,直ちに医師の手当てを受けること。
- 皮膚に付いた場合 : 汚れた衣類と靴を脱がせて,直ちに大量の水で 15 分以上洗い流すこと。汚染された衣類は洗濯すること。汚染された靴は棄てること。
- 目に入った場合 : 直ちに大量の水で,指でまぶたを上下させながら,長時間洗い流すこと。医師の手当てを受けること。

5. 火災時の措置】

- 消火剤 : 周辺環境に適したもの
- 特定の消火方法 : 特になし。
- 特定の危険有害性 : なし。

6. 漏出時の措置】

- 人体および環境に対する注意事項 : 漏出措置時には,その状況と漏出した物質量に応じて,個人保護具を着用する必要がある。推奨される保護具の概略については,項目 8 を参照のこと。
- 除去方法 : 適切な中和剤で中和するか,あるいは不燃性の吸収剤に直接吸収すること。密閉容器に入れ,地方自治体の定める規則に従って,有害廃棄物として処理する。使用済み吸収剤も同様に処理する。項目 15 を参照のこと。

7. 取扱い及び保管上の注意】

- 取扱い : 蒸気を吸い込まないこと。眼,皮膚及び衣類に触れないよう注意すること。取扱い後は,手などを良く洗うこと。
- 保管 : 乾燥した冷所に保管すること。金属性の容器で保管しないこと。強酸から遠ざけること。一緒に保管する物質の種類と有害危険性及び化学的不適合性を考慮して,適正に保管すること。適切に防護された安全なキャビネットまたは部屋に保管すること。

B. 暴露防止及び保護措置】

- 暴露限界値 : 管理濃度は設定されていない。
- 設備対策 (換気システム) : 個人暴露の許容濃度を超える化学物質蒸気の暴露から保護されるよう,および火災の危険性を最少にするよう,適切な換気が必要である。暴露許容濃度については,項目 15 を参照のこと。
- 呼吸器の保護具 : NIOSH 認定の呼吸保護具を着用すること。
- 目の保護具 : 少なくとも安全めがねを着用すること。製品の量や使用条件によっては,化学物質用安全ゴーグル,フェースシールドが必要である。暴露の可能性のある取扱い場所の近くに,緊急用洗眼設備を設ける必要がある。
- 皮膚及び身体の保護具 : 耐化学物質の保護手袋と衣類が推奨される。保護手袋と衣類の選択は,化学物質耐久性またはその他のユーザー要求事項に基づいて行われるべきである。一般的には,BUNA-N が必要な化学物質耐久性を紹介している。本化学物質に特に過敏に反応する人にとっては,さらなる保護具を必要とする。

D. 物理的及び化学的性質】

- 物理的状態 : 透明な液体
- 色,臭い : 無色,無臭
- 沸点 () : データなし
- 融点 () : データなし
- 引火点 (測定法) : 非引火性,不燃性
- 爆発限界 : 下限 適用外 ;上限 適用外
- 蒸気圧 (mmHg) : <18 (20)
- 蒸気密度 (空気=1) : <1

蒸発速度 (酢酸ブチル=1)	: データなし
比重 (水=1)	: 1.040
水溶解性	: 100%溶解する
水/オクタノール分配係数	: データなし
臭気閾値	: データなし

【0. 安定性及び反応性】

安定性	: 安定
避けるべき条件	: 貧弱な換気
避けるべき材料	: 強酸 ,可燃性液体 ,有機ハロゲン化合物 ,アルミニウムや亜鉛などの金属。金属に対して腐食性がある。
危険有害な分解生成物	: 適用外
危険有害な高分子化	: 生じない

【1. 有害性情報】

吸収経路	: 呼吸?あり 皮膚?あり 経口?あり
	飲み込んだり,吸入したりあるいは皮膚に接触したりすると有害危険性がある。
急性/慢性毒性	: 本物質は粘膜組織 ,上部呼吸器官 ,皮膚および眼に対する破壊性が極めて強い。吸入すると,けいれん ,喉頭や気管支の炎症や水腫 ,化学的肺炎および肺水腫を起こすなど ,致命的になるおそれがある。
発ガン性	: NTP?なし IARC カテゴリー?なし OSHA 規則?なし その他?なし

【2. 環境影響情報】

データなし

【3. 廃棄上の注意】

少量の場合 ,慎重に撹拌しながら大量の水に加えること。pH を中性に調整し ,不溶の固体や液体を分離し ,これらを有害廃棄物として処理容器に入れること。地方自治体の定める規則に従い ,水溶液は大量の水で薄めて下水に流すこと。加水分解および中和反応では熱や煙霧を発生することもあるが ,添加速度によってコントロールできる。
国 ,地方自治体の定める全規則を完全に守ること。

【4. 輸送上の注意】

DOT 規則	: シッピング名 : 化学物質キット
	有害性クラス : 9 国連番号 : 3316
	包装グループ : II
	ラベル : クラス 9
	航空機 : 乗客 :10L/荷物 - 荷物 :30L/荷物
IATA-DGR 規則	: シッピング名 : 化学物質キット
	有害性クラス : 9 国連番号 : 3316
	包装グループ : II
	ラベル : クラス 9
	航空機 : 乗客/積荷 :1kg/荷物 (Y915) ;10kg/荷物 (915)
RID/ADR	: データなし
ADNR	: データなし

【5. 適用法令】

許容濃度 :

化学名	OSHA PEL/TWA	ACGIH TLV/TWA	NIOSH TLV/TWA	日本産業 衛生学会
水酸化ナトリウム	2mg/m ³	上限： 2mg/m ³	上限： 2mg/m ³	2mg/m ³

SARA 報告 : セクション 302 : なし
 セクション 303 : あり (1000#)
 セクション 313 : なし

OSHA 表示義務項目 : 腐食性 , 刺激性

EC 情報 :

腐食性

R 34 火傷を引き起こす。

S 26 眼に入った場合 , 直ちに大量の水で洗い流し , 医師の手当てを受けること。

S 37/39 適切な手袋および眼と顔を保護できるものを着用すること。

S 45 事故の場合あるいは気分が悪くなった場合 , 直ちに医師の手当てを受けること。(見える場所に表示すること)

日本の法令 (水酸化ナトリウム) :

PRTR 法 : 対象外
 毒物劇物取締法 : 劇物
 海洋汚染防止法 : 施行令別表第 1 有害液体物質 (D 類)
 危険物船舶運送及び貯蔵規則 : 第 3 条危険物告示別表第 3 腐食性物質
 航空法 : 施行規則第 194 条危険物告示別表第 11 腐食性物質
 港則法 : 施行規則第 12 条危険物 (腐食性物質)

【6. その他の情報】

他の部分で注意しない限り , 上記の情報は溶媒およびサンプル中の同類成分のみに関するものである。

毒性データが記載されていない場合 , 当該化学物質は有害なものとして注意深く取扱うこと。さらに , 個々人の化学物質に対する過敏性は予知できないので , それぞれに適した方法で化学物質を取り扱う必要がある。

OEL-オーストラリア : TWA 2mg/m³ 1993 年 1 月OEL-ベルギー : STEL 2mg/m³ 1993 年 1 月OEL-デンマーク : TWA 2mg/m³ 1993 年 1 月OEL-フィンランド : TWA 2mg/m³ 1993 年 1 月OEL-フランス : TWA 2mg/m³ 1993 年 1 月OEL-ドイツ : TWA 2mg/m³ 1993 年 1 月OEL-日本 : STEL 2mg/m³ 1993 年 1 月OEL-オランダ : TWA 2mg/m³ 1993 年 1 月OEL-フィリピン : TWA 2mg/m³ 1993 年 1 月OEL-スイス : TWA 2mg/m³ ; STEL 4mg/m³ 1993 年 1 月OEL-タイ : TWA 2mg/m³ 1993 年 1 月OEL-トルコ : TWA 2mg/m³ 1993 年 1 月OEL-英国 : TWA 2mg/m³ ; STEL 2mg/m³ 1993 年 1 月

OEL-ブルガリア , コロンビア , ジョルダン , 韓国 : ACGIH TLV 準拠

OEL-ニュージーランド , シンガポール , ヴェトナム : ACGIH TLV 準拠

【略語】

ACGIH	-	US 政府産業衛生委員会
ADNR	-	ライン川流域における危険物運送に関する規則
CAS	-	化学アブストラクトサービス
DOT	-	US 運輸省連邦規則コード49
IARC	-	国際ガン研究機関
IATA-DGR	-	国際航空輸送協会-危険物規則
LEL	-	爆発下限濃度
NIOSH	-	US 国立労働安全衛生研究所
NTP	-	US 国立毒性評価計画
OEL	-	作業環境許容濃度
OSHA	-	US 労働安全衛生局
PEL	-	曝露許容濃度
RID/ADR	-	鉄道による危険物の国際運送に関する規則 / 道路による危険物の国際運送に関するヨーロッパ協約
SARA	-	スーパーファント改正および再実施法
STEL	-	短期間許容濃度
TLV	-	閾値限界
TWA	-	時間加重平均
UEL	-	爆発上限濃度